

令和6年度第1回浜松市美術館協議会会議録

1 開催日時 令和6年8月21日(水)
14時00分～16時20分

2 開催場所 浜松市美術館2階 講座室

3 出席状況

会長	内田	いづ美
委員	荒川	朋子
委員	磯部	啓次
委員	伊藤	公子
委員	今田	徹
委員	寛	有子
委員	山口	剛

(事務局職員)

市民部文化振興担当部長	嶋野	聡
美術館長	飯室	仁志
秋野不矩美術館長	鈴木	英司
美術館長補佐	中村	真康
美術館副主幹	市川	智久
美術館副主幹	若澤	久実
美術館	島口	直弥

4 傍聴者 0人

5 議事内容

- (1) 令和5年度浜松市美術館事業報告及び
内部評価について
- (2) 令和5年度浜松市秋野不矩美術館事業報告及び
内部評価について
- (3) その他

6 会議録作成者 若澤 久実

7 記録の方法 審議事項について発言者の要点記録
録音有

8 会議の記録

(中村館長補佐) 令和6年度第1回浜松市美術館協議会を開催する。

協議会開催にあたり、石上委員が所用により欠席となるが、浜松市美術館協議会

要綱第5条に基づく委員過半数以上の出席となったため、本会議開催要件を満たしたことを報告する。傍聴の申し込みは0人である。本日の会議録署名人は、内田会長にお願いします。

それでは、次第に沿って、内田会長からあいさつする。

(内田会長) 夕方から少し涼しい風が吹くようになったが、日中はまだ暑い日が続いている。本日は早めに来館して「7人のミューズ展」を拝覧させていただいた。充実の内容で、ゆっくりと楽しむにはもう少し時間がほしいと感じた。また、先日のワークショップに関する新聞記事を読んだが、参加した子供たちの顔がニコニコしていて、体験することでさらに興味や理解が深まった様子をみてとることができた。本日は、昨年度の取組や報告のほか、今後の提案についても伺わせていただく。

(中村館長補佐) 次に、嶋野担当部長からあいさつする。

(嶋野担当部長) コロナが5類に移行したが、入場者が爆発的に増えたという印象はない。本来、静かに美術品を鑑賞する場所であることから、コロナ前後の大きな変動がないのではないかと考えている。本日は、令和5年度の取組についてご報告させていただく。委員の皆様から忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。

(中村館長補佐) 続いて、飯室館長からあいさつする。

(飯室館長) 全体的な評価として、コロナ禍に入る3年前の状況に美術館らしい賑わいが戻りつつあると感じている。令和5年度は日本の作品で、まだ表に出ていないものを中心に展示した。北斎展では、肉筆画の展示を紹介し、みほとけのキセキⅡ展では地域に密着した、これまで知られていなかった仏像を紹介した。新・山本二三展では、作者が会期中にご逝去され非常に残念であった。本日は、そうした令和5年度の取組について、事務局から報告させていただく。委員の皆様から忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。

(中村館長補佐) それでは、議題に入る。ここからの進行は、内田会長にお願いします。

(内田会長) 最初に、(1) 令和5年度浜松市美術館事業報告及び内部評価について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 令和5年度浜松市美術館事業報告及び内部評価について説明する。平常展や企画展など、展覧会ごとに説明し、その都度、ご意見やご質問をいただきました

い。

それでは、平常展の内容や成果、改善点について説明する。資料をご覧ください。

※資料に沿って説明

（内田会長）ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

（荒川委員）市展作品の天地がわかるように作品シート欄を設けるなど、課題を解決するための工夫が凝らされていると感じた。市展の展示順を受入れ順としたことで展示作業の時間を短縮した、とあるが、展示会場でバランスをみて、順番を変更したりしたことはあったか。

（事務局）原則、順番通りだが、展示会場の壁面や作品の大きさのバランスをみて多少入れ替えることはあった。

（筧委員）平常展の「辰年を寿ぐ展」では、浜松ゆかりの作家2名の作品を展示したとあるが、浜松市美術館ならではの展示だと感じた。研究が進んだり新たな発見があったりしたのか。

（事務局）平常展の「辰年を寿ぐ展」は、1階第3展示室での展示である。7,000点以上の所蔵作品の中から、同時開催する特別展や企画展との関連や時期を考慮して展示を決めている。今回は、お正月の時期に辰年の干支にちなんだ作品を展示させていただいたという経緯である。

（内田会長）続いて、特別展について事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）特別展の内容や成果、改善点について説明する。資料をご覧ください。※資料に沿って説明

（内田会長）ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

（山口委員）作品解説パネルの外国語表示について、英語とポルトガル語で作成したとあるが、他の言語について考えているか。

（事務局）展覧会の内容や客層に応じて検討する。

（今田委員）展覧会のために作家が制作した作品を今後収集する方針はあるか。

（事務局）浜松に関連した作品を制作いただくことが多いため、浜松ゆかりの作品として収集していく方針である。

（磯部委員）SNSやテレビなどさまざまなPR方法があるが、ある程度広報の方法は決まっているのか。

（事務局）実行委員会で展覧会を実施する場合は、共催者が主に広告を出している。共催者が新聞社の場合は、新聞紙面上に広告や記事を出したり、テレビ局の場合は、CMやニュースで流れたり、You Tube で配信したりしている。雑誌やラジオに学芸員が出演するなどさまざまな媒体を活用して広報している。

（山口委員）メディアと共催するのは効果があるということか。

（事務局）テレビ局はニュース等が流れるタイミングにもよるが、非常に効果が大
きい。

（内田会長）続いて、企画展について事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）企画展の内容や成果、改善点について説明する。資料をご覧ください。
※資料に沿って説明

（内田会長）ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

質疑応答なし

（内田会長）続いて、教育普及活動について事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）教育普及活動の内容や成果、改善点について説明する。資料をご覧ください。
※資料に沿って説明

（内田会長）ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

質疑応答なし

（内田会長）続いて、その他施設等について事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）その他施設等について、アンケートや施設情報、情報発信等の内容につ
いて説明する。資料をご覧ください。※資料に沿って説明

（内田会長）ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

（筧委員）先ほど新・山本二三展では、ポスターやチラシをデザイン専門業者に依頼したと説明があったが、デザイン専門業者が入ることで、かなり成果物が変わると思う。チラシの出来によっては、集客効果に影響が出ることが見込まれるため、毎回専門業者に入ってもらってはどうか。

（事務局）ポスターやチラシの印刷において、デザイン要素がどのくらいの割合を占めるかにより、発注できる業者が変わる。印刷のみを専門とする業者なのか、デザイナーがいる業者なのかなど、請け負うことができる業者が異なりデザインの要素が大きくなれば、その分請負金額も大きくなる。予算との兼ね合いもあるため、それぞれの展覧会の予算状況に応じて検討することになる。

（筧委員）デザイン次第で印象が変わるため、他にかかる予算を調整してでもぜひ取り組んでいただきたい。

（今田委員）市直営の展覧会でもデザイン専門業者に入ってもらえるのか。

（事務局）デザイン料を含めた予算が確保できれば可能である。

（内田会長）次に、（２）令和５年度秋野不矩美術館事業報告及び内部評価について事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）令和５年度の総評及び平常展の内容や成果、改善点について説明する。平常展や特別展など、展覧会ごとに説明し、その都度、ご意見やご質問をいただきたい。

※資料に沿って説明

（内田会長）ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

（今田委員）スマートフォンで読み込んで翻訳している方がいるとのことだが、スマートフォンを利用すればキャプションを翻訳する必要はなくなるのではないか。写真撮影禁止の展覧会で、翻訳のためにスマートフォンを出しているお客様を誤って注意してしまうことがあるか。

（事務局）注意してしまったことがある。この経験から、キャプションの文字をスマートフォンで翻訳しているお客様もいるため、監視の職員にはお客様の様子をよ

く観察するように伝えている。

（筧委員）高齢の来館者が多いことからキャプションの文字を大きくしているということだが、作品とのバランスはどう考えているか。

（事務局）展示専門業者と相談しながらバランスをみて展示している。

（今田委員）キャプションの文字が大きいことで作品の世界観を壊してもいけないと思うが、いかがか。

（事務局）違和感が生じないように対応している。

（山口委員）バランスは壁面や作品の間の余白がどのくらいあるかということが影響すると思うが、高齢の来館者が多いことへの対応も必要であることから、調整が難しいところだと思う。

（磯部委員）自分のスマートフォンを利用して音声ガイドのようなことができればよいのではないか。

（事務局）技術的には可能だと思うが、作業負担や予算的な課題がある。

（内田委員）子供たちの教科書にもQRコードが取り入れられている。便利な技術は積極的に取り入れながら、利便性の高い施設を目指していただきたい。

（内田会長）続いて、特別展について事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）特別展の内容や成果、改善点について説明する。

※資料に沿って説明

（内田会長）ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

質疑応答なし

（内田会長）続いて、教育普及について事務局から説明をお願いしたい。

（事務局）教育普及活動の内容や成果、改善点について説明する。

※資料に沿って説明

(内田会長) ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

(荒川委員) ミュージアムコンサートは継続して実施しているのか。年1回ではなく、月1回開催するなど定期的に来館してもらえるようなイベントにしてはどうか。視覚からだけでなく、聴覚からもリピーターを増やすような年間行事になると良いのではないか。

(事務局) 継続して実施している。以前も地域のインド舞踊や吹奏楽など、地域の方とかかわるような取り組みをしていたことから改めて検討していきたい。屋外でバイオリンを弾きたいという申し出があったこともあり、施設内は響きすぎてしまうため控えていただく必要があるが、そうした申し出に対して音楽と秋野不矩作品との響き合いなどを考えて、様々なイベントを考えたい。

(荒川委員) コンセプトにあった方々とうまくマッチングして良いプログラムにつなげていただきたい。

(伊藤委員) 年間コンセプトには、地域の関係団体と連携して地域振興につなげるとあるが、具体的な取組があれば教えていただきたい。

(事務局) コロナ禍で連携が途切れていたが、再開を検討しているところである。地元企業から、途切れていた子供絵画展のリニューアル提案を受けたり、木材業者からも新たな提案をいただいたりしている。今後、積極的に関わっていききたいと考えている。

(内田会長) (3) その他について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) (3) はじめに、公開承認施設について説明する。これまで重要文化財の展示には、文化庁との事前調整や空調管理の年間報告等が必要であったが、令和6年3月に公開承認施設となったことから、事後報告のみで重要文化財の展示が可能となった。公開承認施設となるにあたり、過去5年間で3回重要文化財を展示した実績や、展示施設として設備や人材が充足していると判断された。こうした制度を活用して、今後は重要文化財を積極的に展示していく予定である。

次に、令和5年度新収蔵作品について説明する。資料をご覧ください。
新収蔵作品はすべて寄贈作品である。原田京平は、天竜にゆかりのある洋画家で、佐々木松次郎は、当館にもその他収蔵作品があり、ご子息は市内在住者である。令和6年度の浜松ゆかりの洋画展においても作品展示した作家である。山下青厓は、当館にもその他収蔵作品があり、浜北にゆかりのある作家である。作者不明のインカ裂及びコプトは、ざざんざ織の平松實氏のコレクションで、一時期当館に寄託さ

れていた作品である。このたび寄贈の申出があり収蔵作品となったものである。今後、展示していく計画である。

（内田会長）ただいまの説明について、ご意見、ご質問はあるか。

質疑応答なし

（事務局）本日の事務局の内部評価報告をもとに、委員の皆様には外部評価をいただきたい。10月末を目途にご提出をお願いしたい。

（内田会長）令和6年度第1回浜松市美術館協議会を閉会する。